

ボーリング柱状図 ⑨

資料No.12

調査名 地質調査等業務委託 (BOR)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 平成20年度 昭和町常永土地区画整理事業

シートNo 60200141

ボーリング名	BOR		調査位置	山梨県中巨摩郡昭和町上河東地内			北緯
発注機関	昭和町常永土地区画整理組合			調査期間	平成20年7月7日～年月日		東経
調査業者名	株式会社 萩原ボーリング 電話(055-243-4777)	主任技師	斉藤 繁仁	現場代理人	コ 鑑定者 齊藤 繁仁	ボーリング責任者	岡田 秀樹
孔口標高	H=257.242m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	10.27m	使用機種	試錐機	YBM-05		ハンマー落下用具	自動落下式
		エンジン		NFAD9E		ポンプ	V-5P

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試験採取 深 度 (m)	室内試験 採取方法	掘進 月 日		
								深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
256.84	0.40	0.40	盛土	暗茶灰			粒子不均一で多量の粘土分を含有する細砂からなる新作り。部分的にφ2~30mm前後の礫を混入。	1.15	3	5	7	15	30	1.00	透水試験			
256.34	0.50	0.90	砂礫	暗灰			φ2~40mm前後の礫主体。隙間を粒子不均一な細~粗砂が充填。	1.45	8	9	8	25	30	1.50				
255.79	0.55	1.45	礫混じり中砂	暗灰			φ2~40mm前後の礫主体。隙間を粒子不均一な細~粗砂が充填。0.40m付近、L=6cmの玉石を混入。	2.15	8	9	8	25	30					
			砂礫	暗灰			全体にφ2~30mm前後の礫を混入。含水が多い。	2.45	8	9	9	26	30					
			砂礫	暗灰			φ2~40mm前後の礫主体。隙間を粒子不均一な細~粗砂が充填。	3.15	8	9	9	26	30					
			砂礫	茶灰			部分的にφ50~60mm前後の礫ならびにL=3~8cmの玉石を混入。含水が多い。	3.45	41	9	1	50	11					
252.99	2.80	4.25	玉石混じり砂	茶灰			φ2~30mm前後の礫主体。隙間を粒子不均一な細~粗砂が充填。	4.15	41	9	1	50	11					
			玉石混じり砂	茶灰			全体にL=3~14cm程の玉石を混入。また、部分的に充填物優勢となる。含水多い。	4.26	貫入不能									
251.54	1.45	5.70	砂礫	茶灰				5.02	貫入不能									
			砂礫	茶灰			φ2~40mm前後の礫主体。隙間を粒子不均一な細~粗砂が充填。	6.15	11	10	10	31	30					
			砂礫	茶灰				6.45	9	10	10	29	30					
			砂礫	茶灰			所々、φ50~60mmの礫を混入。8.10~8.40m間、シルトを多量に含む。8.55~9.35m間、充填物優勢となる。含水多い。	7.15	3	1	4	4	30		7.15	1	密度 粒度	
			砂礫	茶灰				7.45	3	1	4	4	30		7.45	2	密度 粒度	
			砂礫	茶灰				8.45	9	11	17	37	30		8.15	3	密度 粒度	
			砂礫	茶灰				9.15	9	11	17	37	30		8.45			
			砂礫	茶灰				9.45	44	6	2	50	12		9.15			
			砂礫	茶灰				10.15	44	6	2	50	12		9.45			
			砂礫	茶灰				10.27										

ボーリング柱状図 ⑩

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 昭和町常永土地区画整理事業

シートNo. 1

ボーリング名	調査位置		山梨県中巨摩郡昭和町飯喰地内						北緯	
発注機関	常永土地区画整理組合				調査期間		平成 年 月 日 ~ 年 月 日		東経	
調査業者名	主任技師			現代代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	260.694m	角	180上	90	方	北0	90	地盤勾配	水平0	使用機種
総掘進長	10.45m	度	下0	0	向	西180	東90	鉛直	90	0
								ハンマー落下用具		
								ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	相對密度	相對稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
											深	10cmごとの	打撃回数	貫入量 (cm)					深
	260.39	0.30	0.30		表土	茶灰			雑混じり砂、所々に礫φ19-30mmが混じる。	7.3 9.65									
1	259.19	1.20	1.50		砂	茶灰	緩い		部分的に礫φ30mm以内が少量混じる。		1.15	1	2	2	5				
2											1.15	6	6	6	18				
3											2.15	9	13	9	31				
4					砂礫	暗青灰・茶灰	中ぐらい		礫φ10mm以内、所々に礫φ30-50mmが少量混じる。基質は砂、含水が多い。5.6m付近で少量の透水あり。		3.15	13	9	9	31				
5											1.15	10	8	9	27				
6	254.19	5.00	6.50								3.15	8	8	7	23				
7											6.15	26	18	6	50				
8											7.15	14	15	20	49				
9											8.15	50			50				
10	250.24	3.95	10.45						礫φ10mm以内、所々に礫φ20-50mmが多く混じる。含水が多い。8.8m付近にコア長50mmの玉石が混入。		9.15	2			750				
											9.17	22	15	13	50				
											10.15								
											10.13								

観測井戸設置施工例

施 工 前



施 工 後



施 工 後



施 工 後



